

■ゲスト■

阿部沙織様 (FMいわてアナウンサー)

SMILE

☆田村清記会長…本日卓話の阿部沙織
 さんを歓迎してスマイル致します。

☆工藤 泰会員…ゲストスピーカの来
 会を歓迎してスマイル致します。

☆鈴木裕子会員…10日に行いました次年度の理事・
 役員の顔合わせには多数参加いただきまして
 ありがとうございます。全員参加いただいて頼
 もしい限りです。感謝を込めてスマイルします。

☆藤村孝史会員…阿部沙織さん本日は卓話をお引
 き受けいただきありがとうございます。楽しみに
 しております。

☆長野寿美会員…本日はリニューアブルセミナー
 の為早退します。

☆片方直哉会員…先日の葬儀には心遣い頂きまし
 てありがとうございました。まずは一段落でほっ
 としています。

☆小川洋右会員…阿部沙織さんのお話、楽しみに
 しております。先日宝くじ「幸運の女神」と共に
 達増知事を表敬訪問させていただいた模様がTV
 のニュースで披露されました。顔ばれした以上、
 常にスマイルで品行方正を心掛けます。

出 席 報 告

会員数	40名
出席数	18名
出席率	52.94%
前々回修正出席率	54.29%

第29回例会 2020年2月12日(水) 晴 No. 2932

●ソング＝我らの生業 進行：松原 展副SAA



■卓話■

エフエム岩手アナウンサー
 阿部沙織様

「ラジオパーソナリティの1日」

エフエム岩手アナウンサーの阿部沙織と申しま
 す。本日はよろしく願いいたします！

パーソナリティ（ラジオで喋る人）には「らし
 さ」というのが必要です。（前回お話したでしょ
 うか…）私はもともと、アナウンサー志望ではな
 く「ラジオパーソナリティ」志望でした。

いまはエフエム岩手の社員として働いているの
 で肩書が「アナウンサー」ですがパーソナリティ
 で居たい、という気持ちは変わっていません。

今日の卓話の題目は「ラジオパーソナリティの
 1日」としておりました。アナウンサーの1日では
 なく「パーソナリティの1日」です。

パーソナリティはその名のとおり、その人の持
 ち味とか、個性が重要になってきます。コレを持
 っていない人は、ラジオパーソナリティには向いて
 いない、と断言してもいいかもしれません。顔が
 見えない、声だけ聴くからこそ、嘘はバレるし、
 壁を作っていればその壁を感じます。この人心開
 いてないな～という人が喋っていると内容はま
 たく心に響きません。

前回お話ししたとおり、ラジオの魅力は「1対1」
 「あなたとわたし」であることなので、まずはこ
 の信頼関係がしっかり築けていないと伝わるもの
 も伝わらない。なにを話しても右から左へ流れて
 行ってしまいます。

ラジオを聴いてくれるリスナーとの信頼関係を
 しっかりと築くために自分らしさを隠さない、(私
 だったら、泣き虫だとか、食いしん坊だとか、け
 んかつ早いとか、そういうこと)

隠さなくても受け入れてもらえる人柄を、育て
 ていくことが大切なんです。実際に私はラジオ
 パーソナリティの専門学校に通っている時に
 性格を変えるくらいの気持ちがないと、生放
 送を回せるパーソナリティになんかなれるわ
 けがない！と厳しく指導されました。不用意
 な自分の言葉が、そんなつもり無かったの
 に！という発言が聴いている誰かを傷つけて
 しまうかもしれないよ。あなた傷つけちゃっ
 た責任とれるの？と。本当に厳しい先生でし
 ました。どんな毒舌を吐いていても、その裏に「愛」
 が無くてはいけない。そうでなければ、公共
 の電波で喋る資格はないと教えられました。
 ですから、生放送をやっているラジオパーソ
 ナリティはとりあえずココまでが備わってい
 て当たり前、のはずです。（そうじゃない人も
 たまたま居たりして申し訳ないですが）

では、ここから私の1日のハナシです。日
 によってニュースを読んだり、CM原稿を読
 んだり、フォークケロケロのような収録番組
 を収録したり、取材に行つて録ってきた音声
 を編集したり、イベントの司会をしたり…。
 色々ありますが、今日は自分が3時間の生放
 送をやる日のことを。

まず、今日喋るネタになりそうだなーとい
 う事柄を探しながら過ごします。新聞テレビ
 ラジオネットSNS…色々みてみます。ただ、
 例えば「今日は何の日」とか、ニュースで取
 り上げられている話題などは、もうすでにネ
 タにされてしまっています。自分より前の番
 組の人に。私は夕方4時からの3時間ですから
 …。そうすると必然的に、そういう探し方よ
 りも「自分の身の回りで、実際に起きたエピ

ソード」をネタにする方が人と被らなくて良い、ということになるんです。今日喋った方がいいネタ、いつでも使えるネタ、色々とストックしながら生活します。本を読むとか、映画を観るとか、ライブに行くとか、どこかに食事に行くとか、自分の行動すべてが、ラジオ番組に還元するためのインプットになるんです。好きなミュージシャンのライブに行っても、頭の片隅で「あー今のライティングの演出、素敵だなあ。ラジオでみんなに紹介したいなあ！」なんて考えてしまっていて、100%、心から楽しめているかという、そうではなくなってしまうました。これは職業病なのでしょうね…。

何をしても、いつもラジオのことが頭のどこかにあって、どうやって伝えようかな、と考えるしまう自分がいます。3時間の放送の中で流す音楽を決めるのも、生放送のための大事な仕事です。その日の天気や気温も考慮します。冬に夏の曲をかけるのは、いくらイイ曲でも違和感しかありません。ですから、特別な理由があってもどうしてもその日に聞きたい！というリクエストなどでない限りは、その日の天気やニュースに合わせて、流す時間帯も考慮しながら、音楽を決めます。もう一つ、気を付けていることがあります。放送前にスタジオに入って、その時間までに届いているリスナーからのメッセージに目を通して、みなさんのテンションを知るという作業です。温度感、とでもいいでしょうか…。メッセージを送ってくれるリスナーというのは聞いてくれている人のほんの一部、統計とったわけではないですが、たぶん1%以下です。元気づけて欲しい人が多そうだな、というときは応援歌っぽいのを選曲したり。今日はこういうタイミングだから、この曲を聞きたい人が多いだろうな、とか想像して選んだり。番組の真ん中で、そのバランスを考えるのも、パーソナリティの役目だと思っています。3時間の生放送を終えて、時間があれば必ず私がやるのは、その日の自分の放送（喋り）

を聴くこと。言葉のチョイスが適切か、誰かを傷つけるようなことをポロっと言っちゃってないか、その日のうちに出来るだけ、確認するようにしています。まあこうしているとあつという間に1日が終わっていくんですけども。読書、観劇、音楽や映画鑑賞…すべてがラジオのためのインプットになっている、と先ほどお伝えしましたが、語彙を増やす（ことばの引き出しを増やす）こともそうですし、自分がそれほど明るくない分野の専門家にお話を聞いて勉強したり、自分以外の誰かの人生（喜びや苦勞）を知るために、目上の方のお話を聞く機会をいただいたり。そういう全てが私のインプットです。

最近ですと「時代の流れをしっかりと読む」、ということも大事な仕事です。多様性の時代。色々なカタチを理解していく必要がありますし、男だからとか、女だからどうだとか、そういった切り口で公共の電波で話すこと自体、非常にナンセンス。このあたりの情報も意識して、アンテナを立てて収集するようにしています。

このように、仕事とプライベートのオンオフの切り替えができないくらい、すべてがラジオの仕事に繋がっています。パーソナリティの1日は、全部が全部「ラジオのための何か」であり、それがオンもオフもなく続いている、ということがおわかりいただけたでしょうか……。

前回卓話のお話をいただいた時は、夕方の生放送番組は『ポッシュ』でした。現在は『夕刊ラジオ』と名前を改めて、夕刊を「YouCan」 「あなたなら出来る」に引っ掛けていつも誰かの背中をそっと押してあげられるような放送を心がけています。

4月になりますと、放送局は大きな改編期というのを迎えますのでこの先番組に少し変化があるのかもしれませんが…。

もしお時間があれば、ラジオをそばに置いて、お聴きいただけると幸いです。

ありがとうございました。

■会長報告■

先週の土曜日、大相撲の錦木関の結婚披露宴が東京のホテルニューオータニで開かれお祝いの会に参加してきました。錦木関と知り合いでも何でもないのですが、関取の後援会に入会していたのでご案内いただきました。関取の結婚式はどんな感じに興味津々。せっかくの機会でしたので、東京まで行ってきました。

赤坂俊幸先生ご夫妻がご媒酌人です。先生の挨拶を聞いていて、医療関係はもちろんのこと、スポーツ、経済界、政治と岩手の為にもものすごくご尽力されていて北ロータリーの同じメンバーとして誇らしい気持ちになりました。先生、お疲れ様でした。

■幹事報告■

- 2019-20年度地区大会開催に伴う広告協賛のお願い
会当日に配るプログラムに広告掲載のお願いがガバナー事務所よりきています。興味のある方、詳細につきましては事務局までお問い合わせください。
- 大宮RC主催 ポリオ根絶チャリティークラシックカーラリーの開催と参加車両の協力について
催日 2020年3月21日 埼玉大宮神社出発
1920年から1975年代製造のクラシックカーラリー
参加台数 60台・参加費用6万円 募集要項は事務局にございます。
- 例会変更のお知らせ
皆様にはFAXでご案内しておりますが
来週 2/19 通常例会「ギャラクシー」
2/26 夜例会クラブ協議会18時半
ニューウイング3F [桐]
お間違えのないようにお願いします。
また中間報告をお願いしていました委員長さんは発表用資料の提出を事務局まで。

尚、当日ご参加できない委員長さんは代理の方のご指名も併せてお願いします。

横綱鶴竜ら時津風一門の親方、関取衆など400名以上が出席していました。余興の相撲甚句もさすが上手でした。良い経験でした。

そして、10日の月曜日には次年度の理事役員会の顔合わせが行われました。理事役員予定者全員に参加いただいた顔合わせ会でした。忙しい中、全員出席という幸先の良いスタートです。これも次年度の鈴木裕子会長エレクトの「じんとく」と山地幹事の「たよりがい」かなと思います。

本日はFMいわてアナウンサー阿部沙織さんの卓話です。前回に引き続き、どんなお話をしてくれるか楽しみです。阿部さんお忙しい中、ありがとうございます。どうぞよろしく願いいたします。

■ロータリーの友を読んで■ 小川洋右会員
今日はロータリーの友1月号を拝読し、その感想をご披露させていただきます。
各クラブの活動や、会員の方の寄稿がたくさん掲載されており、大変興味深く拝見致しましたが、特に印象深かった記事を選定させていただきました。

元国連難民高等弁務官やJICA理事長などを歴任され、昨年10月に亡くなられた緒方貞子さんへの追悼寄稿を前橋RCの吉永さんという方が書かれたものがとても印象深かったのも、これに関する感想をご披露させていただきます。
私は以前、みずほ銀行の前橋支店に約4年ほど勤務しておりましたが、緒方貞子さんも前橋市出身で、名門、前橋女子高校を卒業され、聖心女子大学を卒業した後、ロータリー財団奨学生としてアメリカのジョージタウン大学大学院に留学されたそうです。その後、カリフォルニア大学で政治学博士号を取得されたそうです。記事の内容は、寄稿された前橋RCの吉水さんが、サラリーマンとしてJICAで、緒方貞子さんに仕えた時代のことを追想され、当時の思い出が書かれておりました。この記事の冒頭は、「50年以上サラリーマンを続けているが、緒方さんを超える上司はいない」という文章から始まります。すこし、記事の抜粋をご披露させていただきます。(P22~23より)

日本人女性としてロータリー財団奨学生第1号として、外国に渡り、世界の平和、奉仕の精神を学ばれ、それを世界に発信され続けた緒方貞子さんの偉業を改めて認識する機会となりました。「ロータリー学友世界奉仕賞」も1996年に受賞されております。ロータリーの精神が、これほどもまでに大きな偉人を作り上げたのだと、改めて深く感じる機会となりました。

